



令和 4 年 9 月 28 日

広島大学教員が東広島市と連携して『未来を担うこどもの
育ちサポート』研究を開始

～理論と実践の融合による東広島市の幼児教育・保育の質の向上を目指して～

広島大大学院人間社会科学研究科附属幼年教育研究施設（幼研）は、子育て支援に力を入れる東広島市保育課と連携し、保育士と行政、研究者が一体となって保育の質向上に取り組む「未来を担うこどもの育ちサポート」を開始しました。専門家が保育所などの現場に出向いて現状や課題を調査・分析し、アドバイスします。

広大幼研のスタッフと、連携する県内の大学教員が外部アドバイザーとして、市内の保育現場を訪問し、8月24日の研修会には、市内約60施設の保育施設長たちが参加しました。幼研の七木田敦教授は、昨年度に先行して実施した施設でのアンケート結果などを紹介しました。

東広島市は昨年度、この取り組みにより、「こども環境学会・自治体施策奨励賞」を受賞しました。今後、東広島市の子ども主体の保育への転換などを目指したアクションプラン（行動計画）を市と連携し研究をさらに進めて参ります。

【お問い合わせ先】

教育学系総括支援室

畠堀

TEL:082-424-4684

FAX:082-424-3478